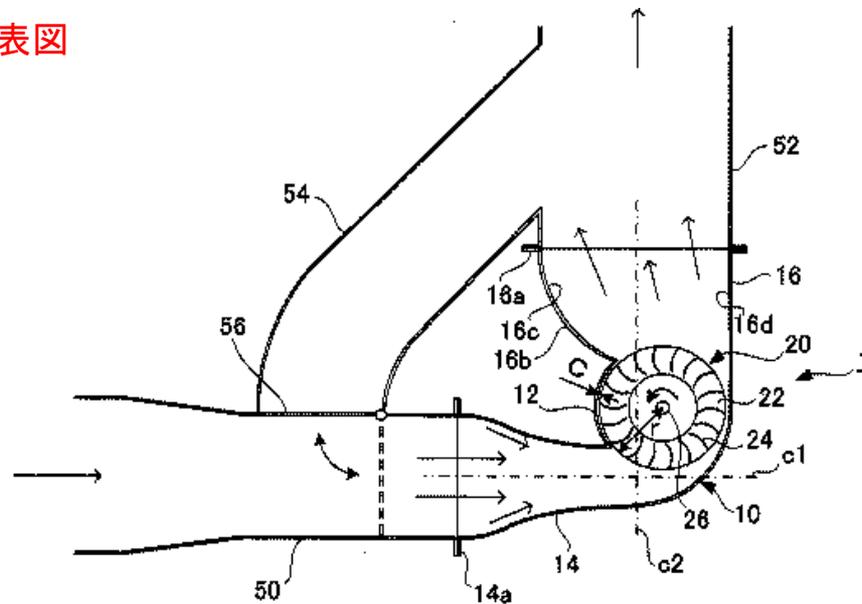


業務用機械

排風エネルギーを効率よく回収する排風発電装置

発明の名称	排風発電装置		
出願人/権利人	日新技研株式会社	発明者	山元 賢一
出願日	平成26年3月4日	出願番号	2014-041898
公開番号	2014-196738	特許番号	6403400
法的状態	登録中		

代表図



1 排風発電装置 10 ケーシング 12 収容部 14 導入部 14a フランジ
 16 排出部 16a フランジ 16b 膨出部 16c, 16d 内壁 20 翼車
 22 端板 24 翼部材 26 回転軸 50 給気ダクト 52 排気ダクト
 54 バイパスダクト 56 ダンパ c1, c2 開口中心線 C クリアランス

発明の概要

ビルや工場などの排風を利用して発電を行う排風発電装置

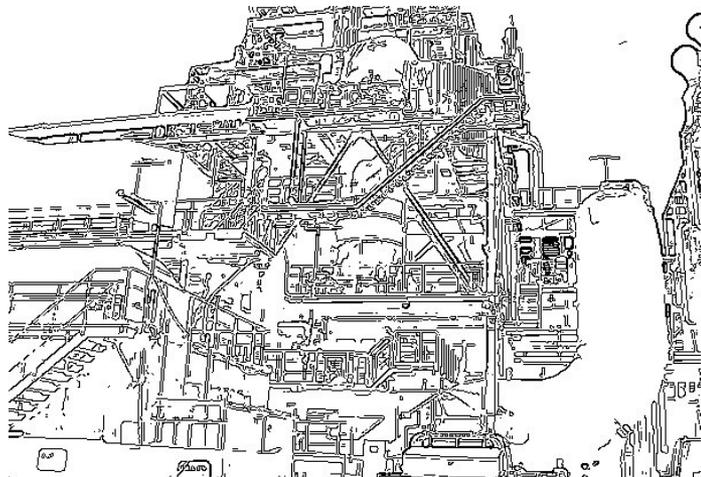
特徴

従来の電力回収装置は、インペラの周囲に間隙を形成する構成であるため、間隙が大きくなると回転効率が低下し、間隙を小さくすると排風機の負荷が大きくなる問題があった。本発明は排風を利用した発電を効率良く行うことができる排風発電装置である。給気ダクトから導入部に導入された排風が、収容部を通過する際に翼車を回転させて、排出部から排気ダクトを経て外部に排出される。これにより、排気設備の排風を利用して翼車を継続的に回転させることができ、電力回収を行うことができる。従来は単に大気放出していた排風エネルギーを効率良く回収することができる。

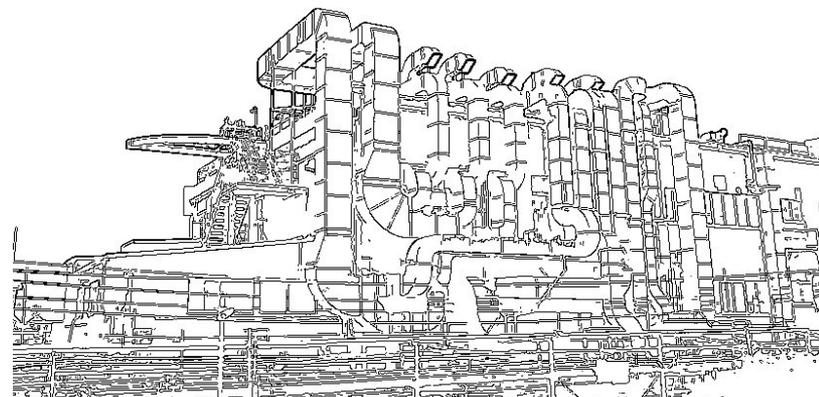
関連分野

農林水産、エネルギー、電気機械、建設・土木、廃棄物処理

応用の可能性

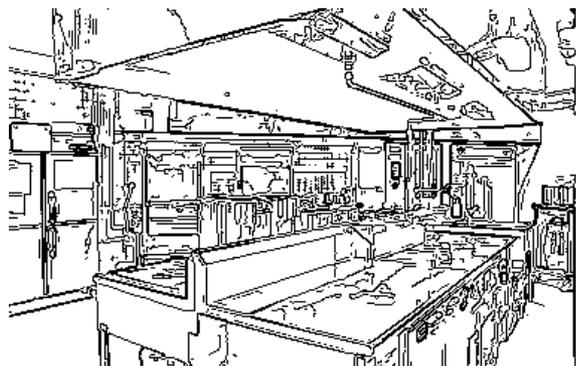
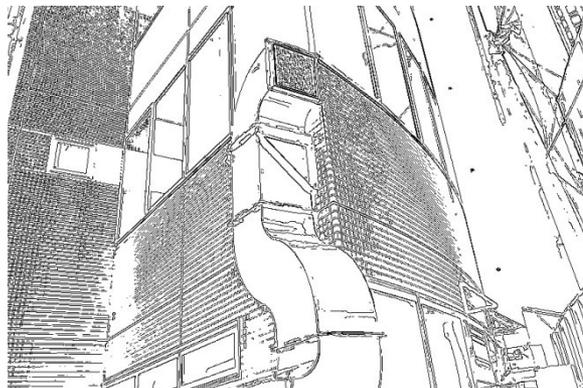


発電所

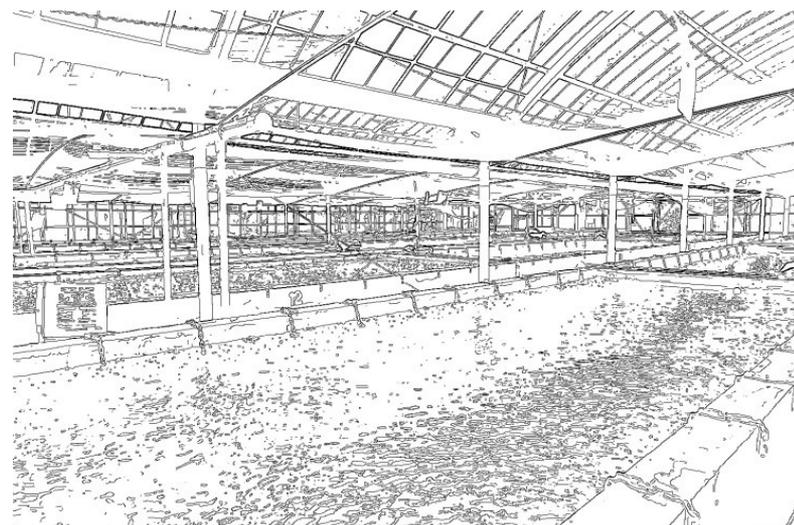


工場

オフィスビル



飲食店



屋内畜産・養殖所

など

応用の可能性

- ・工場
- ・屋内畜産・養殖所
- ・発電所
- ・オフィスビル
- ・飲食店
- など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・株式会社栗本鐵工所
- ・八州電工株式会社
- ・株式会社流機エンジニアリング
- ・有元プラント工業株式会社
- ・富士岐工産株式会社
- ・株式会社ヤブサダイナミックス
- ・株式会社中川製作所
- ・株式会社メンテックワールド
- ・東洋アルチタイト産業株式会社
- など

日新技研株式会社の当発明に関する最新動向

- ・同社ホームページ(<http://www.osaka-nissin.co.jp/index.html>)には本件特許に関連する情報の掲載は見受けられない。